

研修のお申込み

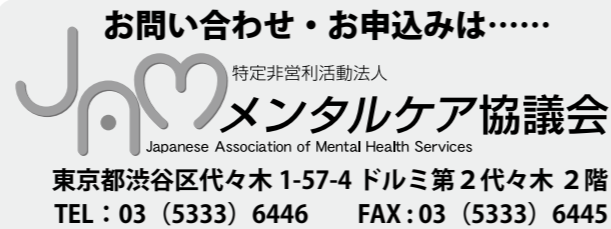
定員 30 名、書類選考とさせていただきます。下記お申込み欄に必要事項ご記入の上、履歴書と併せて FAX または 郵送で下記までお送りください。なお、履歴書は所定の書式のものをご用意いたしましたので、下記 URL よりダウンロードしてください。

http://www.npo-jam.org/rirekisho/

応募締切は 2013 年 1 月 17 日(木) 必着 です。

※ お申し込み受け付け後、選考の上、受講票を 1 月 24 日までにメール (または FAX) にてお送りいたします。

※ なお、メンタルケア協議会非常勤相談員の採用には、別途選考がございます。



東京都 自殺防止のための 電話相談技能研修

2013年
1月～3月

のご案内

電話相談員として働きたい方たちへ

東京都では、自殺防止対策の一環として、電話相談窓口「自殺相談ダイヤル～ここらといのちのほっとライン～」を平成 22 年 4 月から開設しています。

この電話相談に従事する相談員 (非常勤) を育成するための研修を下記のように行います。

この研修を受講できるのは、平成 25(2013) 年度から電話相談員 (非常勤) として働きたいと考えておられる方です。

意欲溢れる方々のご応募をお待ちしておりますので、ぜひ参加をご検討ください。

なお、受講された方全員が相談員として採用されるわけではありません。

定員を超える応募があった場合には、2013 (平成 25) 年度に相談員 (非常勤) として働くことが可能な方を優先させていただきます。

研修内容

- 基礎知識習得のための講義
- グループによるロールプレイ
- 相談現場における陪席及び実務体験

研修内容について、詳しくは次ページの「研修日程」をご覧ください。

◎ 修了証の発行

必修項目を含む 8 単位以上を受講した方には、修了証を発行します。

研修会場ご案内

講義とグループロールプレイは下記のいずれかで実施します (※研修日程参照)

全理連ビル

渋谷区代々木 1-36-4

- JR 代々木駅 北口または都営大江戸線代々木駅 A3 出口より徒歩 1 分 (北口駅前)

ハロー貸会議室新宿

新宿区西新宿 1-5-11 ミツバ 新宿三葉ビル 6F

- JR 新宿駅西口より徒歩 1 分 小田急ハルクの隣のビル

主催

東京都福祉保健局保健政策部

特定非営利活動法人 メンタルケア協議会

参加登録制
定員 30 名
参加費不要

東京都 自殺防止のための電話相談技能研修 参加お申込み

フリガナ
お名前 _____ 年齢 _____ 歳 性別 男 ・ 女

ご住所 _____

電話番号 _____ FAX 番号 _____

メールアドレス (原則として必須。添付ファイルも受け取れるものを) _____ @ _____

受講票の送付や、受講時の必要連絡事項など、原則的にはメール (および添付ファイル) でのやりとりになりますので、ご注意ください。

2013 年度の相談業務に従事することが可能ですか? はい ・ いいえ

⇒ 「はい」の場合、履歴書中に勤務可能な曜日と時間帯を必ずお書きください。

※ 土日を含む一週間の曜日から、勤務可能な日をすべてご記入ください。

※ 勤務時間帯は [A]13:30 ~ 18:30, [B]18:00 ~ 22:30, [C]22:00 ~ 翌 6:00 です。

履歴書中に
保有資格・実務経験
を忘れずにご記入
ください。

受講希望する研修 (および受講日)

■ 現場研修の参加選択は、必ず一つ以上選択し、参加希望欄に○を書き入れてください。

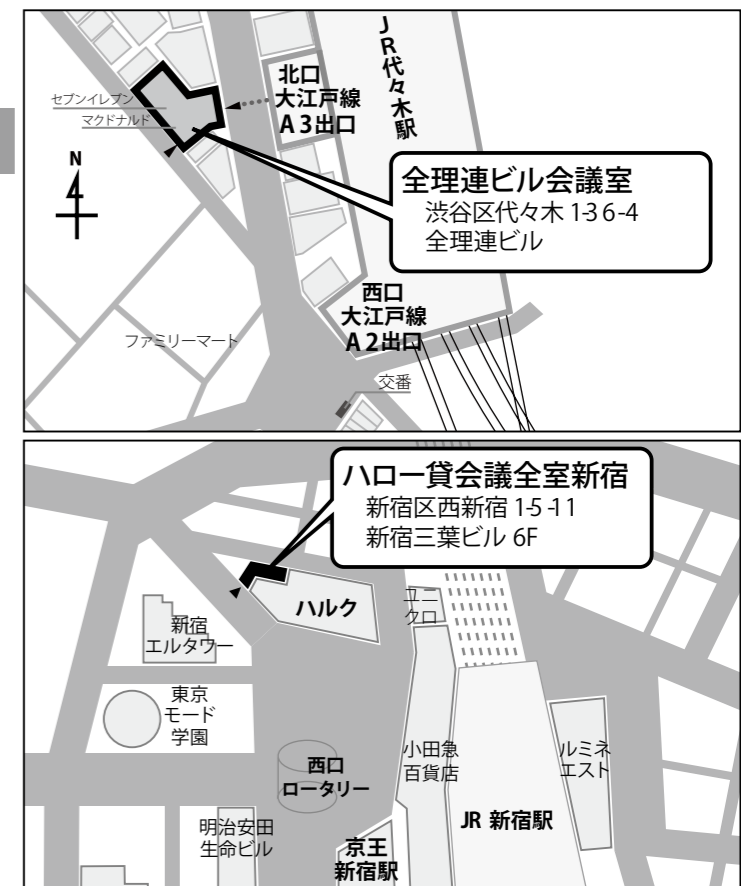
■ 必修および参加希望する研修のうち実施日が複数ある研修は、参加可能な日付をすべて○で囲んでください。人数調整のため、こちらで参加日を決定させていただき、受講票に記載してお知らせいたします。

研修内容	実施日	時	場所	必修	参加	単位	
講義	① 増える若者の自殺	1/26 土	13:30 ~ 19:00	ハロー貸会議室 新宿	必修	可・不可	1
	② 自殺防止のための相談	1/27 日	13:30 ~ 19:00	ハロー貸会議室 新宿	必修	可・不可	1
	③ 病・老い・貧困 を支える	2/3 日	13:30 ~ 19:00	全理連ビル 9F	必修	可・不可	1
グループ ロール プレイ	① 希死念慮のある相談の聞き方	2/17 日	13:30 ~ 18:00	全理連ビル 9F	必修	可・不可	1
	② 他機関へ繋ぐ	2/24 日, (3/24 日 ※1)	13:30 ~ 18:00	全理連ビル 9F	必修	可・不可	1
	③ 相談を受けとめる	3/20 水・祝, (3/31 日 ※2)	13:30 ~ 18:00 13:30 ~ 18:30	全理連ビル 9F	必修	可・不可	1
現場 研修	① 東京夜間こころの電話相談	2/ 6 (水), 2/ 7 (木), 2/ 8 (金), 2/ 9 (土), 2/18 (月), 2/22 (金), 2/23 (土), 2/25 (月)	18:00 ~ 21:00	現地	必修	可・不可	1
	② 自殺防止センター	2/ 5 (火), 2/12 (火), 2/19 (火), 2/26 (火)	18:00 ~ 21:00	現地	選択	希望する	1
	③ 訪問看護ステーション	2/13 (水), 2/20 (水), 2/26 (火), 3/ 5 (火), 3/15 (金)	9:00 ~ 15:00	現地	選択	希望する	1
	④ 東京ダルク	3/12 (火), 3/13 (水), 3/14 (木), 3/19 (火), 3/21 (木) (※3)	13:15 ~ 16:00	現地	選択	希望する	1

※ 1 ロールプレイ②は、原則として 2/24 に参加してください。どうしても都合がつかない場合のみ 3/24 を選択してください。

※ 2 ロールプレイ③は、原則として 3/20 に参加してください。どうしても都合がつかない場合のみ 3/31 を選択してください。

※ 3 東京ダルク現場研修は、タバコの煙が苦手な方はご遠慮ください。



研修日程

研修内容	研修テーマ	日	時	各論テーマ / 備考	講師	場所
Ⅰ. 基礎知識 習得のため の講義 各1単位 すべて必修	①増える若者の自殺 ～思春期青年期の支援を考える～	1/26 (土)	13:30～14:00	開講式 講義1 これからの自殺対策	羽藤 邦利	ハロー貸会議室 新宿(新宿西口) ABCD室
			14:00～15:50	講義2 人格障害を理解する	成田 善弘	
			16:00～16:15	質疑応答		
			16:30～18:20	講義3 発達障害・行為障害の 理解と対応 ^(仮)	富田 拓	
			18:35～18:50	質疑応答		
			18:50～19:00	今後の研修会についてのお知らせ等		
	②自殺防止のための相談	1/27 (日)	13:30～14:50	講義1 人はなぜ自殺するのか —その理解とケアを考える	張 賢徳	ハロー貸会議室 新宿(新宿西口) ABCD室
			15:00～15:10	質疑応答		
			15:10～19:00	講義2+ 希死念慮を持った人の グループワーク 相談を受けるには	羽藤 邦利 西村 由紀	
	③病・老い・貧困 を支える	2/3 (日)	13:30～15:00	講義1 終末期にある患者さんの 気持ちとケア	蛭田 みどり	全理連ビル 9F
			15:10～15:20	質疑応答		
			15:20～16:50	講義2 介護保険制度と支援現場	服部 万里子	
17:00～17:10			質疑応答			
17:10～18:40			講義3 生活支援制度の基礎知識	五十嵐 正仁		
18:50～19:00	質疑応答					
Ⅱ. グループ ロール プレイ 各1単位 すべて必修	①希死念慮のある相談の聞き方 (講義とロールプレイ)	2/17 (日)	13:30～18:00		西原 由記子	全理連ビル 9F
	②他機関へ繋ぐ (ケース検討とロールプレイ)	2/24 (日) [3/24 (日)]	13:30～18:00	※3/24は予備日です。 どうしても都合がつかない場合を除き、 原則として2/24に受講して下さい。	國吉 淨子 荒井 澄子	
	③相談を受けとめる (ロールプレイとグループ)	3/20(水・祝) [3/31 (日)]	13:30～18:00	※3/31は予備日です。 どうしても都合がつかない場合を除き、 原則として3/20に受講して下さい。	内藤 武 國吉 淨子 西村 由紀	
		3/20(水・祝)	18:00～18:30	閉講式	羽藤 邦利	
Ⅲ. 現場研修 各1単位 ①は必修、 ②～④は 選択	①東京夜間こころの電話相談	2/6(水), 2/7(木) 2/8(金), 2/9(土) 2/18(月), 2/22(金) 2/23(土), 2/25(月)	18:00～21:00	電話相談対応の基本(レクチャー) 相談の陪席 (全8回中、いずれか1日に参加)	会田 敏子 荒井 澄子 梅澤 ぬ系	相談室
	②自殺防止センター	2/5(火), 2/12(火) 2/19(火), 2/26(火)	18:00～21:00	活動の紹介・相談の陪席 (全4回中、いずれか1日に参加)	自殺防止セン ター・スタッフ (付添:國吉・西村)	相談室
	③多摩在宅支援センター円・元 (訪問看護ステーション)	2/13(水), 2/20(水), 2/26(火), 3/ 5(火), 3/15(金)	9:00～15:00	訪問看護の実態について(レクチャー) 訪問の同行 (全5回中、いずれか1日に参加)	寺田 悦子 スタッフ (付添:会田・梅澤・ 西村)	ステーション および 訪問対象者宅 (立川または八王子)
	④東京ダルク	3/12(火), 3/13(水), 3/14(木), 3/19(火), 3/21(木)	13:15～16:00	ダルクの活動について(レクチャー) 自助グループミーティングへの参加 ※タバコの煙が苦手な方はご遠慮ください。	東京ダルク スタッフ (付添:國吉・西村)	東京ダルク

※現場研修の研修場所については、1/26に資料を配布いたします

講師・団体紹介 (50音順)

会田 敏子 (あいだとしこ)

元多摩総合精神保健福祉センター／東京都の保健所などで保健師として38年間勤務。母子・成人・精神保健などの地域保健活動を実践。とくに精神保健に関しては、地域の対応困難事例を専門に担当する精神専任保健師として活動。夜間電話相談はその活動の一部。

荒井 澄子 (あらい すみこ)

元南多摩保健所／メンタルケア協議会理事／東京都に39年間勤務。検診機関保健師(がん検診センター)、職域保健師(衛生局、総務局)、福祉保健局本庁(精神保健福祉課)、地域保健師(3つの保健所) など

五十嵐 正仁 (いがらし まさひと)

西東京市福祉部生活福祉課主幹／S55 田無市役所に入職し、福祉事務所に経理担当として配属されて以来、生活保護のケースワーカー16年、生活保護の査察指導員を4年を経て、現在は福祉部主幹として生活保護の業務に携わっている。

梅澤 ぬ系 (うめざわ ぬ系)

元都立多摩東村山保健所／東京都保健所38年間勤務。母子保健や成人保健活動を経て、地域の対応困難事例を専門に担当する精神専任保健師として活動。夜間電話相談はその活動の一部。

國吉 淨子 (くによし きよこ)

元都立中部総合精神保健福祉センター／メンタルケア協議会理事／S52～東京都勤務。松沢病院。多摩総合、中部総合精神保健福祉センターなど。

張 賢徳 (ちょう よしのり)

帝京大学医学部付属溝口病院精神神経科科長・教授／S40大阪にて出生。H3 東京大学医学部卒業後、帝京大学医学部付属市原病院・本院にて臨床研修に従事。H9 英国ケンブリッジ大学臨床医学系精神医学博士号取得。H9～H11 帝京大学市原病院精神神経科講師。H11～H16 帝京大学溝口病院精神神経科科長・講師。H16～同科長・助教授。H20～現職。専門は精神医学と自殺学で、自殺と精神障害の関係について研究している。

寺田 悦子 (てらだ えつこ)

NPO 法人多摩在宅支援センター円(えん) 理事長／当法人は居宅介護サービス事業、共同生活援助事業、相談支援事業など「在宅での支援を必要とする高齢者・障がい者・傷病者等がその人らしい豊かで多様な生活ができるよう応援する」を理念に掲げ、多摩地域で各種事業を展開している。特に、精神障がい者へのニーズに込えているのが当法人の特徴である。居宅介護サービスとしては訪問看護ステーション円、訪問看護ステーション元(げん)。共同生活援助事業にはグループホーム櫻の杜ハウス、グループホームくぬぎの杜がある。相談支援事業には地域活動支援センター連(れん)がある。

特定非営利活動法人 東京ダルク

薬物依存症者に共同生活の場を提供し、薬物を使わない生き方のプログラムを実践することによって、回復を支援する。回復していくための場、時間、回復者モデルを提供し、ナルコティクス アノニマス (NA) の12ステップに基づいたプログラムによって新しい生き方の方向付けをし、各地の自助グループにつなげていく。

富田 拓 (とみたひろし)

国立きぬ川学院(児童自立支援施設) 医務課長／筑波大学卒。国立武蔵野学院(児童自立支援施設) 医務課長を経て現職。医学博士／厚生労働技官。

内藤 武 (ないとう たけし)

元立教大学学生相談所インテーカー／メンタルケア協議会理事／「東京いのちの電話」土曜医療面接員、ロンドン滞在中(H3年～H4年)「Samaritans(自殺予防電話相談)」の日本語ラインの相談員などを担当し、現在は「埼玉いのちの電話」の研修に従事。

成田 善弘 (なりた・よしひろ)

成田心理療法研究室／S16名古屋市に生まれる。S41名古屋大学医学部卒業。精神医学専攻。愛知県立城山病院医員、名古屋大学医学部精神医学教室助手、社会保険中京病院精神科部長を経て、H6 椋山女学園大学人間関係学部教授。H14 桜くりニック嘱託。H15 大阪市立大学生生活科学研究科教授。H23 現職。

西原 由記子 (にしはら ゆきこ)

NPO 国際ビフレンダース日本支部／東京自殺防止センター創設者・理事／大阪でのいのちの電話5年、大阪自殺防止センター20年、東京13年目を迎えて自殺防止活動をしているボランティア団体の創設者・理事。傾聴し、自殺にまで追い込まれる人に寄り添うことを大切にしています。

西村 由紀 (にしむら ゆき)

メンタルケア協議会理事／東京都精神科救急情報センター、東京夜間こころの電話相談、東京自殺相談ダイヤルの立ち上げと運営に携わる。精神保健福祉士。

服部 万里子 (はっとり まりこ)

公益社団法人長寿社会文化協会 理事長／服部メディカル研究所 所長／S60大阪府立千里看護学院を卒業。S64服部メディカル研究所設立。H11 渋谷介護サポートセンター設立。H12城西国際大学福祉総合学部福祉経営学科教授。H13産能大学大学院・経営情報学専攻科卒業、MBA取得。H19立教大学コミュニティ福祉学部福祉学科教授(学科長)。H24 同学部講師。

羽藤 邦利 (はとう くにとし)

特定非営利活動法人メンタルケア協議会理事長／日本精神衛生会理事／S42 京大医学部卒／富士病院、東京都立松沢病院を経て、S58 代々木の森診療所開設。H2. 1月より代々木の森診療所 院長。専門：臨床精神医学一般。

蛭田 みどり (ひるた みどり)

特定非営利法人コミュニティケアリンク東京 ケアタウン小平 訪問看護ステーション 所長／大学病院勤務後、伊豆七島の診療所で4カ月働く。H3 聖ヨハネ会桜町病院聖ヨハネホスピス勤務。H9 併設の聖ヨハネホスピスケア研究所の看護研究員。H17.10月よりケアタウン小平訪問看護ステーションで訪問看護に従事。ケアタウン小平は、がんの方たちだけでなく、難病や慢性疾患、障害などを抱えながらも、住みなれた地域で最期まで安心してその人らしく過ごすことができるようにというコンセプトのもとに開設された。チームケアを基本として、医療と看護・介護が連携を取りやすい環境を作り、地域との連携を大切にしながらケアを提供している。